

脳神経外科

1. スタッフ (2024年4月1日現在)

科 長 (教授)	草鹿 元
医 員 (教授)	吉野 義一 (脳血管内治療部)
(講師)	内山 拓
(助教)	山田 健嗣
シニアレジデント	伊古田雅史
非常勤医員	4名
	5名

2. 診療科特徴

主に脳脊髄疾患の外科治療に重点をおき、幅広い手術に対応している。脳卒中、頭部外傷などの非手術症例は救急科、神経内科の協力を得ている。脳卒中慢性期の診療は近隣の医療機関と連携している。

- ・日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設
(基幹施設は自治医科大学脳神経外科)
- ・日本脳神経外科学会専門医、指導医
草鹿 元、吉野 義一、山田 健嗣、内山 拓、伊古田 雅史、杣 夏美
- ・日本脳卒中学会専門医
吉野 義一、山田 健嗣、内山 拓、伊古田 雅史
- ・日本脊髄学会認定医、脊椎脊髄外科専門医
草鹿 元、内山 拓
- ・脳卒中の外科学会技術指導医
草鹿 元
- ・脳神経血管内治療学会専門医、指導医
吉野 義一、山田 健嗣、伊古田 雅史
- ・神経内視鏡学会技術専門医
吉野 義一、内山 拓、杣 夏美
- ・国際山岳医
草鹿 元

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

3-1) 外来患者数

新患者	280人
再来患者	6,783人

3-2) 入院患者数

合計 504人

3-3) 手術件数

合計 396例

手術症例病名別件数

脳腫瘍	開頭腫瘍摘出術	49例
	広範囲頭蓋底腫瘍摘出術	0例
	下垂体腫瘍 (Hardy)	7例

生検術	11例
血管障害	脳動脈瘤クリッピング術 (破裂 6例、未破裂 3例)
	脳動静脈奇形摘出術
	バイパス術 (もやもや病 5例)
	CEA
	開頭血腫除去
	内視鏡下血腫除去
外傷	慢性硬膜下血腫穿頭ドレナージ
	急性硬膜下血腫 開頭血腫除去
	急性硬膜外血腫 開頭血腫除去
脳室ドレナージ	6例
水頭症手術	シャント術
	内視鏡手術 (ETV、透明中隔開窓)
脊椎脊髄疾患	脊髄腫瘍
	頸椎前方固定術
	頸椎後方固定術
	頸椎後方除圧術
	胸腰椎後方除圧術
	胸腰椎固定術
	腰椎椎間板ヘルニア摘出
	硬膜動静脈瘻流出路遮断術
	SSシャント術
	キアリ奇形 大孔減圧術
微小血管減圧術	3例
血管内手術	162例
	頸動脈ステント留置術
	脳動脈瘤コイル塞栓術 (破裂 17例、未破裂 17例)
	フローダイバーター留置術
	経皮的血栓回収術
	硬膜動静脈瘻塞栓術
	腫瘍栄養血管塞栓術
	頭蓋内血管ステント留置術
	動静脉奇形塞栓術
	その他
3-4) 再手術	4例
	感染
	脳室ドレーン閉塞
3-5) 化学療法・放射線治療	3例
	化学療法

放射線治療	7 例
放射線+化学療法	10例

3 – 6) クリニカルインディケーター

死亡例	8 例
急性硬膜下血	1 例
脳出血	1 例
くも膜下出血	1 例
脳梗塞	4 例
悪性脳腫瘍	1 例
剖検数	0 件

4. カンファレンス

病棟カンファレンス：火曜日、金曜日の午前 8 時から
手術カンファレンス：月曜日の午後 6 時から
脳卒中カンファレンス：火曜日の15時から
病棟回診：火曜日、金曜日の午前 8 時半から

5. 学会活動

埼玉県脳神経外科懇話会（2回）
埼玉県脳腫瘍病理懇話会（2回）
日本脳神経外科関東支部学術集会（3回）
北部首都圏NS研究会（1回）
さいたまてんかんフォーラム（1回）

6. 2025年の目標

近年、手術件数は増加傾向で300件以上を継続しており、2024年は年間400件近い。2025年は年間400件以上を目標に尽力していきたい。神経内視鏡、ナビゲーション、電気生理学的モニタリングを有効に活用し、より安全、より低侵襲な手術を目指し、手術合併症の発生の低減に努めたい。他院で手術後の方や、合併症などで対応困難な手術症例などにも対応していく。